

図書館だより (仮)

2022年5月号
信楽高等学校図書館発行

「読書の時間」が実施されます！

6月2日(木)・3日(金)のうち、各クラス1時間

各自で、読む本を用意してください。
マンガ・雑誌は禁止です。
図書室の本も貸し出しできるので、
ぜひ借りに来てください。

お気に入りの
一冊を
見つけよう！



本のリクエスト受付中

信楽高校図書館では、読んでみたい本のリクエストを受け付けています。

「本のタイトル」と「作者」をメモし、昼休みか放課後の開館中に、司書に声をかけてください。新着図書の参考にします。マンガと雑誌のリクエストは受け付けていないので、注意してください。

今月のおすすめ本……10代が書いた小説特集

『夏と花火と私の死体』 乙一

村の森の奥まった所に、一本の木がある。そこは、わたしと弥生ちゃんと、弥生ちゃんのおにいさんの健くんの、三人だけの秘密の基地。いつものように、弥生ちゃんと木に登る。いつものように、村を眺めながらお話をすると、その時…！次の瞬間、枝から滑り落ちていくわたしの体。…そして、わたしは死体になった！それは九歳の夏の日の夕暮れのこと。弱冠17歳が生み出した、異色のホラー小説！！第6回ジャンプ小説・NF大賞受賞。



『ちーちゃんは悠久の向こう』 日日日

「ちーちゃんこと歌島千草は僕の家のごくごく近所に住んでいる」一幽霊好きの幼馴染・ちーちゃんに振り回されながらも、「僕」の平穏な日常はいつまでも続くはずだった。続くと思っていた一あの瞬間までは。怪異事件を境に、ちーちゃんの生活は一八〇度転換し、押さえ込んでいた僕の生活の中の不穏まで堰を切って溢れ始める…。疑いもしなかった「変わるはずがない日常」が音を立てて崩れ落ちていくさま、それをただ見続けるしかない恐怖を描いた、新感覚のジュブナイル・ホラー。「あんスタ」で人気の日日日、18歳のデビュー作。



『蹴りたい背中』 綿矢りさ

「この、もの哀しく丸まった、無防備な背中を蹴りたい」長谷川初実は、陸上部の高校1年生。ある日、オリチャンというモデルの熱狂的ファンであるにな川から、彼の部屋に招待されるが…クラスの余り者同士の奇妙な関係を描き、文学史上の事件となった127万部のベストセラー。史上最年少(当時)19歳での芥川賞受賞作。

